

令和4年度第1回宇治市地域福祉推進委員会 事前検討まとめ

資料8

資料	ご意見内容
1	宇治市は「認知症にやさしいまち」「健康長寿日本一」など主に高齢者に焦点をあてた施策の充実が図られているが、一方で「若者」や「現役世代」の施策が手薄になっていると感じている。
2	「いじめ」や「ヤングケアラー問題」「不登校・ひきこもり」などに苦しむ子ども・若者世代の声をひろい、支援につなげるため、チャットなどSNSを活用した「若者SOS対応システム」の構築
3	「つまずいた」若者たちの「就労」を複数の大人が寄り添いながらサポートする仕組みの創設
4	「ひとり親家庭」の食を支えるフードパントリーの仕組みの創設
次第4 5	<p>進行管理における事業評価については、これまで「内部評価」という記載のみで、詳細の記述がありませんでした。事業の客観性と透明性を確保するうえにおいても、「内部評価」とは、どのような体制で、議論された回数や時期など、おおまかでも説明すべきであると思います。</p> <p>さらに、経費や時間的な制約および理事者の考え等もあろうかと思いますが、評価については、第三者評価、あるいは市民や関係団体等も含めた構成による評価委員会による評価等を検討してみてはどうかと考えます。</p>
6	緊急通報装置(シルバーホン)の設置具体的な内容があまり市民への広報が十分ではないと思う。